



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2384 URL <http://www.sbs-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 遠藤 隆 (TEL) 03 (3829) 2222
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	126,944	64.5	5,547	137.3	5,472	145.0	3,356	174.8
2018年12月期第2四半期	77,178	7.5	2,337	34.1	2,233	8.6	1,221	△13.9

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 3,669百万円(162.8%) 2018年12月期第2四半期 1,396百万円(△15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	84.51	—
2018年12月期第2四半期	30.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	175,610	50,822	24.1
2018年12月期	171,796	48,173	23.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 42,285百万円 2018年12月期 39,759百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期は遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	22.8	9,000	9.2	8,400	10.4	4,800	8.9	120.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年12月期 2Q	39,718,200株	2018年12月期	39,718,200株
2019年12月期 2Q	534株	2018年12月期	512株
2019年12月期 2Q	39,717,672株	2018年12月期 2Q	39,717,728株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、2019年8月9日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)は、大手宅配事業者で始まった料金適正化の動きが浸透してきたことや、燃料単価が昨年に比して落ち着いていることなどが追い風となり、物流業界の経営環境は総じて堅調に推移いたしました。一方、人手不足とりわけ深刻なドライバー不足は、一部で機会損失と人件費の上昇を招き経営環境を圧迫しつつあります。

このような環境の中で当社の物流事業は3PLを中心に順調に推移しました。これに2018年8月にグループ入りしたSBSリコーロジスティクスの業績が加わったこと、さらに当連結会計年度に予定していた物流不動産の流動化を実施し第1四半期で収益を計上したことにより、業績は前年同期と比較し大幅に拡大いたしました。

これらの結果、売上高は1,269億44百万円(前年同四半期比64.5%増)、営業利益は55億47百万円(同137.3%増)、経常利益は54億72百万円(同145.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億56百万円(同174.8%増)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(物流事業)

物流事業では、既存事業における料金適正化を進めつつ、高い物流機能を求める新規顧客の取りこみと、物流業務の地道な効率化・安定化に取り組みました。さらには即日配送事業におけるBtoB、あるいはBtoCの荷主様の旺盛な需要に積極的に対応することに加え、拡大が目覚ましいEコマースへの対応・EC通販の物量の増加により業績が堅調に推移しました。また、大阪市住之江区に建設を進めておりましたマルチテナント型の南港物流センター(延床面積18,540坪)が3月に竣工し稼働を開始しております。

これに、SBSリコーロジスティクスが加わったことで、売上高は1,169億97百万円(前年同四半期比61.5%増)、営業利益は23億17百万円(同40.2%増)と前年同期と比較して大幅な増収増益となりました。

同社については、SBSグループの倉庫・車両の相互利用、リース等のグループ企業リソースの利用及び国内外における拠点の統廃合や人材交流を進めております。同社の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高が370億32百万円、営業利益は6億74百万円であります。なお、別途のれん等償却額が3億6百万円あります。

(不動産事業)

不動産事業は、開発事業と賃貸事業で構成されております。開発事業では、グループの3PL事業を推進するために、顧客の物流ニーズに合った大型倉庫を土地の取得から建設まで一貫して行います。賃貸事業は、当社グループが保有する収益物件(倉庫、オフィスビル、レジデンス等)から賃貸収益を得る事業です。当社は、将来の投資に向け物流不動産を流動化し資金を回収しておりますが、流動化に伴い計上する収益は不動産事業に含めております。

千葉県野田市瀬戸に計画しております当社グループ最大規模の物流センターにつきましては、土地の造成が終了し今年度中には着工の準備が整う予定です。物流不動産の流動化では長津田物流センターの30%持ち分を信託受益権の形式で譲渡した結果、業績が大きく伸びました。売上高は65億83百万円(前年同四半期比358.6%増)、営業利益は30億86百万円(同287.6%増)となりました。

(その他事業)

その他事業の主な事業は、人材派遣事業、マーケティング事業及び太陽光発電事業になります。人材派遣事業の低迷が響き、売上高は33億62百万円(前年同四半期比1.6%増)、営業利益は1億43百万円(同9.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,756億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億13百万円増加しました。長津田物流センター売却に伴うたな卸資産の減少、南港物流センター竣工による建設仮勘定の減少があったものの、同センターにかかる建物等の固定資産並びに現金及び預金が増加しました。

負債は1,247億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億64百万円増加しました。主として短期借入金等の増加によるものです。

純資産は508億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億49百万円増加しました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益33億56百万円を計上した一方で、一株当たり22円の配当金総額8億73百万円の支払いが生じたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期終了時における業績は順調に進捗しています。2019年12月期の連結業績予想につきましては、現段階では2019年2月13日に公表しました通期の業績予想を変更いたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,310	17,005
受取手形及び売掛金	31,807	32,012
たな卸資産	8,221	5,778
その他	5,672	5,857
貸倒引当金	△36	△30
流動資産合計	61,975	60,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,250	55,256
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,782	△26,617
建物及び構築物（純額）	21,468	28,638
機械装置及び運搬具	24,699	25,601
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,253	△13,898
機械装置及び運搬具（純額）	11,445	11,702
土地	41,634	41,689
リース資産	5,971	5,876
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,458	△3,530
リース資産（純額）	2,512	2,346
建設仮勘定	6,633	3,049
その他	5,799	5,881
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,119	△4,138
その他（純額）	1,680	1,743
有形固定資産合計	85,373	89,171
無形固定資産		
のれん	5,739	5,575
その他	5,078	4,877
無形固定資産合計	10,818	10,452
投資その他の資産		
投資その他の資産	14,188	15,884
貸倒引当金	△559	△521
投資その他の資産合計	13,629	15,362
固定資産合計	109,821	114,986
資産合計	171,796	175,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,555	13,326
電子記録債務	—	3,663
1年内償還予定の社債	80	—
短期借入金	15,500	18,800
1年内返済予定の長期借入金	9,887	9,933
未払法人税等	1,939	1,392
賞与引当金	1,390	1,547
その他	16,140	13,947
流動負債合計	58,493	62,611
固定負債		
長期借入金	47,371	44,498
退職給付に係る負債	6,073	6,003
その他	11,685	11,674
固定負債合計	65,130	62,176
負債合計	123,623	124,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,920	3,920
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	32,750	35,233
自己株式	△0	△0
株主資本合計	39,322	41,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	775
為替換算調整勘定	△114	△159
退職給付に係る調整累計額	△193	△135
その他の包括利益累計額合計	436	480
非支配株主持分	8,414	8,536
純資産合計	48,173	50,822
負債純資産合計	171,796	175,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	77,178	126,944
売上原価	69,648	113,480
売上総利益	7,530	13,463
販売費及び一般管理費	5,192	7,916
営業利益	2,337	5,547
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	34	50
持分法による投資利益	160	166
その他	65	262
営業外収益合計	269	494
営業外費用		
支払利息	227	340
事務所移転費用	2	122
その他	143	106
営業外費用合計	373	570
経常利益	2,233	5,472
特別利益		
固定資産売却益	59	65
関係会社株式売却益	—	20
特別利益合計	59	85
特別損失		
固定資産売却損	12	12
固定資産除却損	41	16
その他	3	—
特別損失合計	57	28
税金等調整前四半期純利益	2,235	5,528
法人税、住民税及び事業税	932	2,068
法人税等調整額	△39	△115
法人税等合計	893	1,953
四半期純利益	1,342	3,574
非支配株主に帰属する四半期純利益	120	218
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,221	3,356

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,342	3,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	93
為替換算調整勘定	△27	△60
退職給付に係る調整額	28	72
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△10
その他の包括利益合計	53	94
四半期包括利益	1,396	3,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,276	3,400
非支配株主に係る四半期包括利益	120	268

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	72,432	1,435	3,310	77,178	—	77,178
セグメント間の 内部売上高又は振替高	290	—	75	365	△365	—
計	72,722	1,435	3,386	77,544	△365	77,178
セグメント利益	1,653	796	158	2,608	△270	2,337

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去26百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△296百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	116,997	6,583	3,362	126,944	—	126,944
セグメント間の 内部売上高又は振替高	201	48	195	444	△444	—
計	117,199	6,631	3,558	127,389	△444	126,944
セグメント利益	2,317	3,086	143	5,548	△0	5,547

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去28百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△29百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。